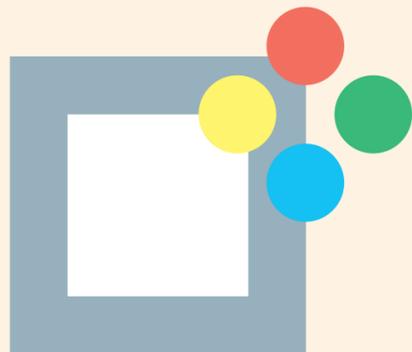


SQUAREBOCCIA スクエアボッチャ ガイド

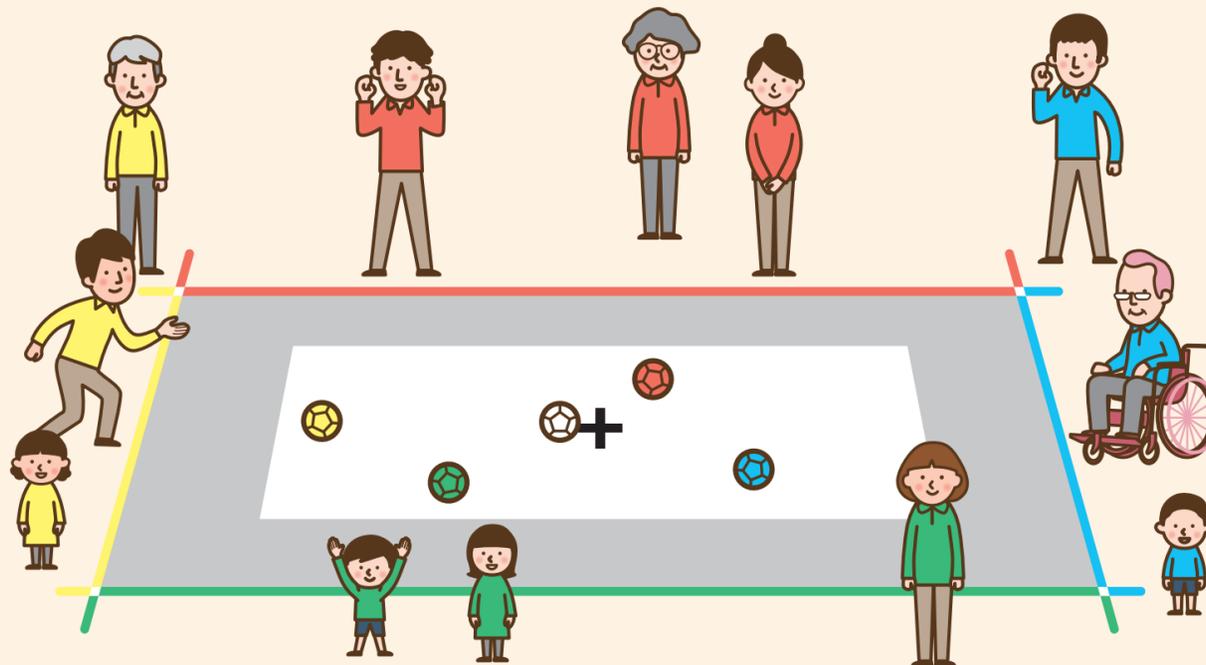


name

公益財団法人京都市障害者スポーツ協会
京都市障害者スポーツセンター

概要

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、各チームがカラーボールを6球ずつ投球し、いかにジャックボールに近づけるかを競います。一番近いチームが勝ちとなります。



基本ルール

- 1 4チーム対抗でプレーする。(1チーム1~6人で構成)
- 2 チームの投球順は、じゃんけんなどで決定する。
※最初に投球するチームがジャックボールを投球する。
- 3 赤→青→緑→黄の順で1人ずつ投球する。
- 4 人数に関わらず各チーム6球投げる。
※必ず全員が投球する。
- 5 投球エリアは、4辺あるスローイングラインのうち、各チームに割り当てられたスローイングラインの外側から投球する。その範囲内であればどこからでも投球することができる。
ジャックボールラインより内側にあるジャックボールが、カラーボールに押し出されてジャックボールラインに触れた状態で静止、またはラインの外に出た場合は、クロス位置にジャックボールを戻す。
- 6 カラーボールがスローイングラインに触れた状態で静止、またはラインの外に出た場合は、そのボールを無効とする。
すべてのボールを投球し終えた時点で、そのエンドを終了とする。得点計算は、ボッチャと同様とする。
※ジャックボール投球から、4色のカラーボールすべて投げ終えるまでを1エンドという。
- 7 エンド終了時の得点計算とは別に、ボーナスポイントとして、プレー中にカラーボールがジャックボールにピッタリくっついて静止した場合は、くっついたカラーボールのチームに1点加算する。
- 8 4エンド終了時の合計得点で順位を決定する。

スクエアボッチャの誕生について

(公財)京都市障害者スポーツ協会では、25周年をきっかけに、障害の有無や程度、年齢に関係なく誰もが楽しめる新しいスポーツを模索しておりました。

そこで、パラリンピック正式競技の「ボッチャ」をベースに、より多くの人が同時に楽しめるようにアレンジした、新しいスポーツとして「スクエアボッチャ」が2018年に誕生しました。

名称の由来

「ボッチャ」は、1方向でプレーしますが、「スクエアボッチャ」は正方形のコートで4辺すべてを使って4方向でプレーするため、正方形の「スクエア」を引用しています。また、競技のベースとなっている「ボッチャ」を組合せ、「スクエアボッチャ」と名付けました。

スクエアボッチャとは？

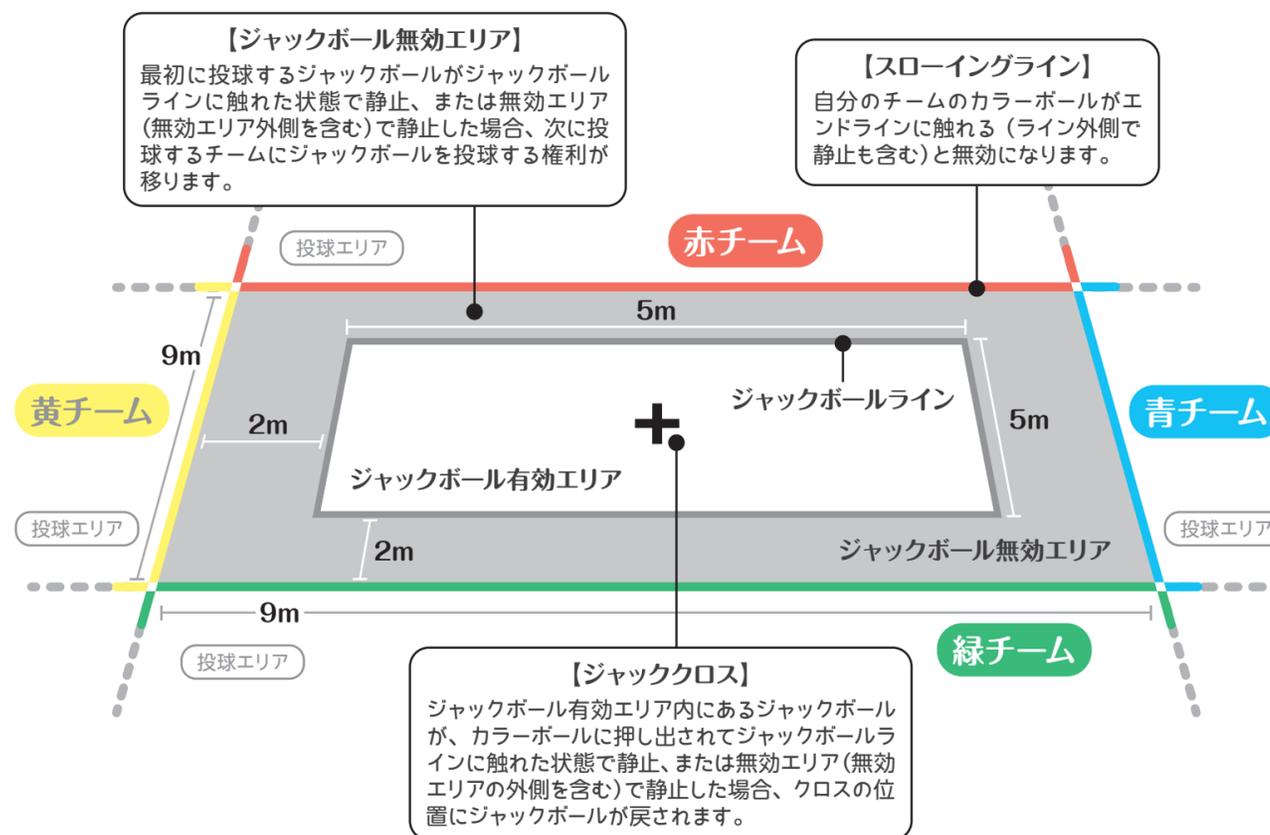
正方形(9m×9m)のコートで4チーム(1チーム1~6人)が同時にプレーすることができます。障害や体力、年齢、人数に関係なく、誰もが楽しめるように工夫を凝らしています。
※コートの大きさや人数など、状況に応じてアレンジすることができます。また、ボールが2セットあれば、さらに人数を増やして楽しむことができます。

【ジャックボール無効エリア】

最初に投球するジャックボールがジャックボールラインに触れた状態で静止、または無効エリア(無効エリア外側を含む)で静止した場合、次に投球するチームにジャックボールを投球する権利が移ります。

【スローイングライン】

自分のチームのカラーボールがエンドラインに触れる(ライン外側で静止も含む)と無効になります。



【ジャッククロス】

ジャックボール有効エリア内にあるジャックボールが、カラーボールに押し出されてジャックボールラインに触れた状態で静止、または無効エリア(無効エリアの外側を含む)で静止した場合、クロス位置にジャックボールが戻されます。

得点の計算方法

すべてのチームのカラーボールを投球し終えた時点でエンド終了とし、得点を計算します。ジャックボールに1番近いカラーボールのチームに得点が入ります。得点は、ジャックボールと2番目に近いチームのボールとの間にある1番近いチームのボールの個数が点数となります。

○得点例

① 赤が1番近い。
② 2番目に近い色は黄。
③ ジャックボールと黄の間には赤が1個なので、赤1点。

① 赤が1番近い。
② 2番目も赤なので、赤以外で2番目に近い色を探します。
③ 赤以外で2番目に近い色は黄。
④ ジャックボールと黄の間に赤が2個なので、赤2点。

① 赤、黄が同距離で2色とも1番近い。
② 同距離が出た場合は、色に関係なく2番目に近いボールを探します。この場合は赤。
③ ジャックボールと2番目の間に赤、黄が同距離で1個ずつなので、赤1点、黄1点。

○ボーナスポイント

プレー中にカラーボールがジャックボールにくっついて静止した場合は、くっついたカラーボールのチームに1点加算します。くっついていたボールが一度はなれて、再度くっつけばもう1点加算されます。

準備するもの



ジャックボール
(1球)



カラーボール
4色 (各6球)



距離計測器
(メジャーなど)

01 ▶

4チームに分ける

1チーム1~6人で構成します。



02 ▶

順番を決める

くじ引きやじゃんけんなどで、投球順を決めます。

1番: 赤 / 2番: 青 / 3番: 緑 / 4番: 黄



03 ▶

ジャックボールを投げる

第1投目は、赤チームがジャックボール(白ボール)を投げます。

第1エンドは赤、第2エンドは青、第3エンドは緑、第4エンドは黄チームがジャックボールを投げます。



04 ▶

カラーボールを投げる

ジャックボール(白ボール)を投げたチームが続けて自分のチームのカラーボールを1球投げます。



05 ▼

次のチームが投げる

時計回りで隣のチームがカラーボールを1球投げます。
※ジャックボールとの距離は関係ありません。
隣のチームが投球します。



06 ▶

得点を計算する

全員投げ終わったら得点を計算します。

07

みんなで楽しむ

スクエアポッチャはだれでも気軽に楽しめるスポーツです。
気負わず、気軽に楽しみましょう。



こんなとき、どうするの？

- Q** 投球できるエリアはどこですか？
A スローイングライン(自分のチームカラーの線)の範囲であれば、どこからでも投球できます。ただし、線を踏んで投球することはできません。
- Q** 第1投目のジャックボールが、ジャックボール有効エリア(内側の線)に入らなかった場合はどうするの？
A 隣のチームにジャックボールを投球する権利が移ります。また、次のエンドは元の順番に戻ります。
例: 赤/失敗 → 青/ジャックボールを投球
- Q** 有効エリアにあったジャックボールが、カラーボールにはじかれて有効エリア外に出た場合はどうするの？
A ジャックボールはジャッククロス(コートの中)に移動させて、プレーを再開させます。
- Q** ジャックボールとカラーボールがぴったりくっついて、ボーナスポイント加点後に、再度ボーナスポイントが加点されるのはどんな時？
A くっついて静止していたボールが、一度離れてから再度くっつき静止した場合、ボーナスポイント1点が再度加点されます。

詳しくはこちらまで

公益財団法人京都市障害者スポーツ協会
〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5番地
京都市障害者スポーツセンター
TEL 075-702-3370 FAX 075-702-3372